

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる</li> <li>社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる</li> <li>自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことのできるものを見つけることができる</li> <li>当該課題と向き合う中で、その課題に関わり学ぶ事が自分自身の人生においてどのような意味を持つのかを自覚する事ができる</li> <li>社会的課題に向き合う中で、人間は社会的・文化的・歴史的な構造関係の中に存在している事に気づき、社会に参画・貢献する姿勢を持つことができる</li> </ul>	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる</li> <li>社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる</li> <li>データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる</li> <li>自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる</li> </ol> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことのできるものを見つけることができる</li> <li>当該課題と向き合う中で、その課題に関わり学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのかを自覚することができる</li> <li>社会的課題に向き合う中で、人間は社会的・文化的・歴史的な構造関係の中に存在していることに気づき、社会に参画・貢献する姿勢をもつことができる</li> </ol>	

授業日	10/26(木)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・各自の探究課題およびそのFS先について、それらが近いメンバーごとに班を形成し、班メンバーの課題や選定したFS先について共有する。 ・各班としてFS先3カ所を選定する。		
時間 授業内容	40 分	各自の課題をもとに班分けの素案を提示し、各班に分かれて、課題やFS先の選定について共有を行う同時に、担当者で各班と面談を行い、班分けの組み換えを行う	
	20 分	班分けの変更等を行い、確定した班においてFS先3カ所の選定を行う	
評価方法	今回は評価せず、次回以降でフィールドスタディ先の選定を行ってから、その目的等を整理する行う中で評価を行う。		
宿題指示	10/30(月)までに各班の名前、メンバーおよびその課題、班が選定したFS先候補3カ所についてのロイロカードを完成させ、提出する		